**講演：　国際標準化、国際競争力、国際人材、Joy of Workなど**

日本人は、2000年以上にわたる長い間、外敵の侵略を受けずに定住するなかで途切れることなく歴史のフィルターを回し続けて日本人の価値観を磨き、日本の文化を紡ぎだしてきました。それは、我々が置かれた気候風土のなかで、残したいと思ったものを残し、残したくないと思ったものは捨てるという単純な作業の繰りかえしでした。重要なのはその単純作業が日本でいかに長く続けられてきたかです。諸外国は外敵の侵入を受けて文明の断絶を繰り返してきました。“４０００年の歴史“を誇っている中国を最初に統一した秦王朝は１５年で滅亡し引き継いだ漢王朝も４００年で途絶えていますが、日本の今に至る王朝（皇室）は神武天皇が実在であれば、それ以来2677年間継続してきたことになります。2番目はデンマーク王朝の1300年です。

日本文化の流れの中で我々は、唯一絶対の神の厳しい教えの枠に留まることもなく、共生を大事にしつつ、より高い自分を目指す自由を守ってきたのだと思います。多くの日本人がそれぞれの持ち場で僅かずつ向上し続けてきたと思います。そういう日常生活をあたりまえのように過ごしてきたのも、実は世界中で日本人だけだったのかも知れないと思うのは不遜でしょうか。

背筋の伸びた優しい日本人、海外のホテルで一番人気の日本人、世界一高信頼・高品質な日本製品などの根源がこのあたりにあるように思います。グローバル化の波に流されて危険なジャングルに丸腰で迷いこんだ感がある昨今の日本人ですが、実は宇宙船地球号の平和・維持にとって誠に貴重な智恵とノウハウを持っているのも我々日本人だと思います。我々には、外敵との戦いに翻弄され、断絶を繰り返してきた大陸の文明が紡ぎだすことのできなかった共生のノウハウ、すべては繋がっているという感覚、競争の戒め、富の追求への懐疑などを誇りをもって守り、世界に伝える責任があるのではないでしょうか。

講演では、日本と日本人が共有するそのような価値観と、我々をとりまくジャングルの現状を理解し、最近の個の主張、開発・発展・富の追求、それに伴う競争指向の光と影を観て、グローバル世界で誇りをもって真に活躍できる人材となるきっかけを掴んで戴ければと思います。→okamura@globalplan.jp

**講演の内容例**
(1)  国際標準化：最近の議論の動向・分析（ITU-T，lEC）通信、環境、BOP、戦略
(2)  国際競争力：国際競争力の理解、強化、グローバル人材の素養、国際合意形成の実際
(3)  Joy of Work サービスの生産性強化：セミナの実績、内容、セミナ導入の判断材料

**講演の実績**

**国際**：OFMCC93, NATO Summer Seminar 95, OFC95, 97, ICC96, OECC96, 97, 01, OAA99, SubOptic Ol, ITU-T Seminar 02，03, APT workshop 01，05，06．07，08 ASTAP Forum 02, 03, 04, 05, 06, 07, 08, 09, 10, 11, 12中国郵電省, モンゴル情報通信省、インドネシア郵電局、ベトナム情報通信省、インドテレコム局，マレーシア、ネパール、ニカラグア通信省 APT Policy・Regulatory Forum, Nepal Broadband Forum 2017,UNESCAP(Baku 2014 & Bangkok 2018), ITU-Arab Workshop 2015, Broadband Communication Summit(Austin, 2018), ITU telecom world 2018ほか

**国内**：経産省、総務省、産総研、日本lTU協会、JICA、アドバネックス、アンリツ、コニカミノルタ、NTT横須賀研究所、NTT武蔵野研究所、NTTアドバンステクノロジ，NTTコムウエア本社、NTTコムウエア東海、NTTデータ本社、富士フイルム本社、ボッシュ（東愛岐、電子情報通信学会、光協会、CIAJ、 JEITA,　東大（学部・院）、慶応大（院）、青学六（院）、大阪府大．北大（院〉、富山大、日大理工学部、中央大、名工大、名大、神奈川大、大阪工太．静岡大、豊橋科技大、千歳科技大、横浜国大、広島国際大、九州産業大、立命館、大分大、東京理科大、茨城大、千葉工大、日大生産工学部、近畿大産業理工学部　ほか・

**講演へのコメント（国際競争力の理解、強化、グローバル人材の素養、国際合意形成の実際）↓**

****